

フィリピン共和国
TESDA 女性センター強化計画
終了時評価報告書

平成 19 年 3 月

(2006 年度)

独立行政法人国際協力機構

フィリピン事務所

序 文

フィリピン共和国 TESDA 女性センター強化計画は、2004年2月に署名・交換された討議議事録（R/D）に基づいて、2004年2月から3年間の計画で実施してきました。

このたび、プロジェクトの協力期間の終了を2007年2月に控え、国際協力機構は2006年8月28日から2006年9月6日までの間、北林春美フィリピン事務所次長を団長とする終了時評価調査（現地調査）を実施し、これまでの活動実績等について総合的な評価を行いました。これらの評価結果は、日本国・フィリピン国双方の討議を経て評価報告書としてまとめられ、署名・交換のうえ、両国の関係機関に提出されました。

本報告書は、上記調査団の調査・協議の結果をとりまとめたものであり、今後、広く活用され、日本国・フィリピン国両国の親善及び国際協力の推進に寄与することを願うものです。最後に本調査の実施に当たり、ご協力を頂いたフィリピン国関係機関並びに我が国関係各位に対し、厚く御礼を申し上げますとともに、当機構の業務に対して今後とも一層のご支援をお願いする次第です。

平成19年3月

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所長 松浦 正三

目 次

目次

序文

プロジェクトの位置図

写真

略語一覧

評価調査結果要約表（和文）

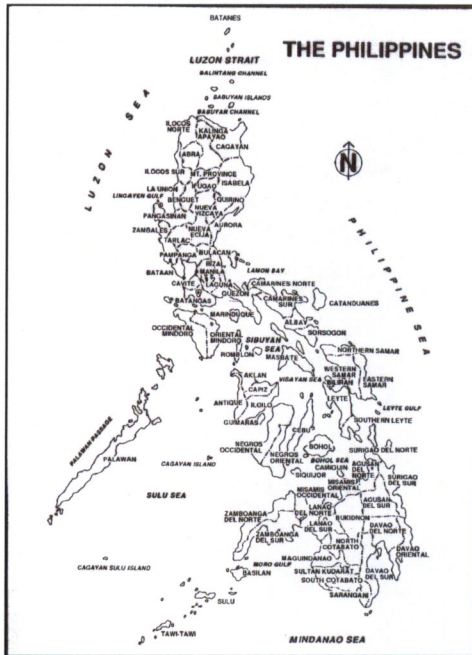
第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査期間	2
1-4 対象プロジェクトの概要	2
1-4-1 対象プロジェクトの概要	2
1-4-2 協力期間	2
1-4-3 フィリピン側実施機関	2
1-4-4 プロジェクト目標と成果	3
第2章 終了時評価の方法	3
2-1 評価手順・手法	3
2-2 評価5項目	4
2-2-1 妥当性	4
2-2-2 有効性	4
2-2-3 効率性	4
2-2-4 インパクト	4
2-2-5 自立発展性	4
2-3 本評価調査の限界	5
第3章 プロジェクトの実績	6
3-1 投入実績	6
3-1-1 日本側投入	6
3-1-2 フィリピン側投入	6
3-2 プロジェクトの成果の達成度	7
3-3 プロジェクト目標の達成度	11
3-4 上位目標の達成可能性	12
第4章 評価結果	14
4-1 団長所感	14
4-2 評価5項目の評価結果	17
4-2-1 妥当性	17
4-2-2 有効性	18

4-2-3	効率性	19
4-2-4	インパクト	19
4-2-5	自立発展性	20
4-2-6	阻害・貢献要因の総合的検証	20
4-3	結論	23
第5章 提言と教訓		24
5-1	提言	24
5-2	教訓	24

別添資料

1. 調査日程
2. プロジェクトデザインマトリックス (PDM)
3. 参考文献
4. 質問票
5. 専門家派遣実績
6. 研修員受入実績
7. 携行機材リスト
8. カウンターパートの配置
9. フィリピン側負担分ローカルコスト (MOOE 内訳)
10. プロジェクト成果の達成度
11. 起業支援サービス実績
12. 図書館の利用状況
13. 卒業状況
14. ミニッツ

プロジェクトの位置図



TESDA 女性センター